

平成21年度 第3回金沢市入札制度評価委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成21年11月26日(木) 金沢市役所 第1委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 鴨野 幸雄(金沢大学名誉教授) 委員 春成 保(公認会計士) 委員 川村 國夫(金沢工業大学教授) 委員 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 後藤 正美(金沢工業大学教授)		
次第	1 開会 2 審議 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等 (1)平成21年度発注工事について (2)発注工事に係る平均落札率について (3)工事成績評点について (4)入札参加資格停止等の運用状況について (5)談合情報への対応状況について 委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等 (1)平成21年度発注業務について (2)委託業務に係る平均落札率について (3)業務成績評点について 総合評価方式の試行結果について 低入札価格調査対象工事に係る契約後の履行確認実施状況について 委員があらかじめ抽出した工事に係る業者選考等の経緯 その他 3 閉会		
審査対象期間	平成21年7月1日～平成21年9月30日		
抽出案件	9件		
工事	制約付き一般競争入札	4件	・御影町線ほか1路線新幹線側道整備工事及び下水道管渠移設工事並びに配水管布設替工事 ・弓取川1号雨水幹線築造工事(補助)及び(単独)並びに弓取川・下三口橋配水管添架工事 ・(仮称)犀川地域総合センター建設工事(建築工事) ・平成21年度 浅野第2ポンプ場建築付帯機械設備工事
	指名競争入札	1件	・20災200号、201号、202号、203号及び204号道路災害復旧工事
	随意契約	1件	・駅西福祉健康センター中央監視装置取替工事
委託	公募型指名競争入札	1件	・都市基盤河川大宮川改修工事に伴う水門等設計業務委託
	指名競争入札	1件	・上辰巳町ほか1町地内(1-1工区)地下埋設物調査業務委託及び末浄水浄水場導水管地下埋設物調査業務委託
	随意契約	1件	・小立野小学校改築工事基本及び実施設計業務委託
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による報告又は意見の具申	平成21年度の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。		

別紙

総 括	
<p>各委員からの意見は、概ね以下のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低入札価格調査制度及び最低制限価格制度を見直してきたことにより、低価格での受注には一定の歯止めの効果があらわれてきた。 ・ しかし、それぞれの調査基準価格や最低制限価格付近に張り付いての競争や失格者が多く見られる。これらの制度の趣旨が生かされているか、引き続き落札率の推移等を含め注視を続けていくこと。 <p>なお、意見の詳細は次のとおり。</p>	
意 見 ・ 質 問	回 答
<p>1 工事に係る入札・契約手続きの運用状況について</p> <p>昨年同期との比較において、低入札価格調査の実施件数が増加傾向にあるのはなぜか。 また、最低制限価格での落札件数が1件に減少しているのはなぜか。</p> <p>総合評価において、評価点、評価値、入札金額と落札者の関係については、どのようになっているのか。 また、評価点等については公表しているのか。</p> <p>低入札価格調査において、調査基準価格を下回った者が全て失格となり、予定価格の90%での応札者が落札者となっている工事も見受けられるが、このことに対して、どのように考えるか。</p> <p>同一施工箇所における同種工事について、分割発注したにも関わらず、同一業者が落札することは可能か。</p> <p>元請業者が破産した場合、下請業者に対する請負代金の支払状況等の調査は実施しているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年5月1日の低入札価格調査制度改正において、調査基準価格が引き上げられたことによって、昨年度までは低入札価格調査対象外であった範囲も調査対象となったためである。 ・ また、平成20年8月1日の最低制限価格制度改正において、最低制限価格の設定金額が予定価格に対して75%の定率設定から個別設定となったため、最低制限価格を推察することが困難となり、最低制限価格での落札件数が1件に減少している。 ・ 評価点を入札金額で除して、1円当たりの評価が一番高い者(除算方式)を落札者としている。 ・ 評価点及び評価値については、入札結果と併せて、閲覧形式で公表している。 ・ 低入札価格調査基準価格を下回った業者については、低入札価格調査実施要領に基づき1次審査(数値的判断基準)を行うが、その審査の結果、調査基準価格を下回った全業者が失格となったため予定価格の90%での応札者が落札者となったものである。 ・ また、今後の国の低入札価格調査制度の動向を見ながら、この制度の趣旨が生かされているか注視していきたい。 ・ 制約付一般競争入札の参加資格について、受注件数の制限がないため、複数の工事を落札することは可能である。 ・ ただし、この場合は経費調整が行われ契約金額が減額となる。 ・ 下請業者に対する請負代金の支払方法等については、下請人通知書の提出時に確認しているが、元請業者の破産等による下請業者への請負代金の支払状況の調査については、実施できないのが現状である。

意見・質問

回答

2 委員があらかじめ抽出した工事に係る業者選考等の経緯

御影町線ほか1路線新幹線側道整備工事及び下水道管渠移設工事並びに配水管布設替工事

入札参加可能業者が多数であるのに、3社のみの応札となったのはなぜか。

・本年度、国、県及び本市において、公共工事の早期発注に努めており、当該入札執行時には、相当数の公共工事が発注された状況であった。
また、街中の工事であり、地域条件及び施工性を考慮し、入札参加を手控える業者が多かったと推察する。

弓取川1号雨水幹線築造工事（補助）及び（単独）並びに弓取川・下三口橋配水管添架工事

総合評価方式について、技術提案型、簡易・型はどのような基準で区別しているのか。

・総合評価方式については、3,000万円以上の工事の中から、工種や工事内容を見て選定し、その選定した工事を技術的な工夫の余地の大小によって、技術提案型、簡易・と区別している。

（仮称）犀川地域総合センター建設工事（建築工事）

技術提案の評価についての上限点数。また、評価の課題及び配点については工事ごとに異なるのか。

・技術提案の評価の上限は20点となっている。
評価の課題及び配点は工事ごとに異なっており、総合評価委員会において学識経験者の意見をもとに決定している。

技術提案の評価者の構成はどうなっているか。検査員は含まれているのか。

・評価者の構成は、事業課1名のほか、技術アドバイザー等の職員2名の計3名で構成されており、検査員は含まれていない。

平成21年度 浅野第2ポンプ場建築付帯機械設備工事

入札参加者が1社のみであり、予定価格と同額での入札となった経緯を確認したい。

・年度当初からの早期発注に伴い、現場代理人の確保が困難であったこと、また、施工場所が場内地下であり、別工事が同時進行しており、工事現場の輻輳が嫌われたためと考える。

2020号、201号、202号、203号及び204号道路災害復旧工事

浅野川災害復旧工事については全て指名競争入札により執行したのか。

・浅野川氾濫に関する災害復旧工事については、早急な復旧が必要であったため、金額に関係なく指名競争入札とした。

浅野川氾濫に関する災害復旧工事は多数あったと思われるが、全て個別に発注したのか。

・現場の施工性及び輻輳の回避を総合的に考慮し、地区単位や路線単位で、まとめて1つの工事として指名競争入札により発注している。

駅西福祉健康センター中央監視装置取替工事

本中央監視装置取替工事の請負業者が、駅西福祉健康センター建設時に、空調自動制御設備(現場制御機器及び中央監視装置)の設置工事を施工したのか。

また、随意契約の手続きは、どのように行われているのか。

施工可能な代理店が複数存在する場合の発注形態について確認したい。

都市基盤河川大宮川改修工事に伴う水門等設計業務委託

特に意見なし

上辰巳町ほか1町地内(1-1工区)地下埋設物調査業務委託及び未浄水場導水管地下埋設物調査業務委託

落札率(66.76%)が低いようだが、その経緯を確認したい。

小立野小学校改築工事基本及び実施設計業務委託

公募型プロポーザル方式における各委員の採点結果の上位者の差が微小な場合の対応及び委託業務の総合評価方式の導入について、確認したい。

・空調設備工事の地元請負業者から下請で施工したと考えられる。

また、随意契約については、工事の内容等を確認し、妥当と判断した工事のみ行っている。

・施工可能な代理店が複数存在する場合、他社との互換性がある機器の取替工事の場合は、制約付き一般競争入札での発注としている。

・今回の発注形態が、地中レーダ探査業務実績を有する者への直接発注であったことにより、業務実績の確保のため、受注意欲が旺盛になったことにより、低価格での応札になったものと考えられる。

・公募型プロポーザル方式については、採点結果が微小な場合においても、得点最上位者のみと見積合せを実施している。

また、委託業務における総合評価形式の導入及び公募型プロポーザルのあり方については、国の動向に注視しつつ、研究していきたい。